

# 明 和 小 学 校

## 1、地層の観察

### (1) 観察する場所

小学校の対岸の道路ぞいのがけ

### (2) がけから離れて地層全体を観察する。

① がけの地層が見通せる所に立って、がけの全景をスケッチする。

② 地層の中に縦に伸びている岩脈や地層の色など気付いたことを書き入れる。

③ この高台は、層理の見えない塊状の緑色をしたA層が厚くつもつてできていることを理解する。

また、この塊状の緑色の地層を

道路にそって追いかけて見よう。地層は水平方向に広がっていることが理解される。

### (3) 地層に近づいて観察させる。

④層は緑色をして塊状で層理は見られず、表面には5 mm大の暗緑色の斑点状に観察される緑色角レキ凝灰岩です。この地層は中新世初期に海底火山の噴出物が海底につもってできたものです。近くの南郷一小、只見小の近くのがけにも緑色凝灰岩は見られますが、同じ緑色凝灰岩でも場所によって岩相は違ってきます。

⑤岩は黒っぽくち密な岩石で、厚い所で1 mの厚さをもって東西方向に伸びています。この岩石はゲンブ岩と呼ばれる火山岩で、地面の割れ目等に沿ってマグマが入りこんで、冷えてできた岩脈です。

